

五国 SSH 連携プログラム

8月7日(金)に兵庫県内の高校生と、神戸市立学校園に勤務するALTとが、昨年の冬から世界中で大流行中の新型コロナウイルス感染症が、我々の生活をどのように変えたのか。今後このウイルスとの共存社会をどのように築いていけばよいのか。世界の情勢をALTに聞き、これからの日常生活において心がける行動等について英語で議論しました。なお、このプログラムは「テレビ会議システム(zoom)」を使用して実施されました。参加者は3~4名の小グループに分かれて英語で議論を行い、全体会では各グループで話し合われたことについて順番にプレゼンテーションを行いました。本校からは、1年生の生徒がグループを代表して発表しました。

全グループのプレゼンテーション終了後、神戸市立六甲アイランド高校 ALT による英語ミニ講義「Antigen-antibody reaction(抗原抗体反応)」が行われました。



生徒の感想

- ◇ Zoom を使って ALT と英語でコロナウイルスに関する話を話しました。また、ALT の方々による「抗原抗体反応」に関する講義がとても面白く、将来は英語で様々なことを学びたいと思いました。
- ◇ 今回初めて Zoom を使った講義に参加しました。英語で ALT の方々とチャットをしたり、血液型についての話を聞いたりしました。いろいろな場所から英語を通して交流できてとても楽しかったです。貴重な体験ができ、今後も同じようなプログラムがあればぜひ参加したいと思います。

サイエンス校外実習 I

8月24日(月)に総合自然科学科1年生の生徒が、サイエンス校外実習 I に取り組みました。初めての科の行事であり、多くの生徒が楽しみにしていました。内容は、山崎断層に関するフィールドワークと宍粟防災センターでの施設見学、講義です。講義では、地学の専門家である姫路市立城の西公民館長の西影裕一先生を講師に招き、地震や水害、防災について、説明を受けました。西影先生は、地元に関連の深い事例を挙げ、今までのフィールド活動の経験や画像を交えて、分かりやすく解説されました。生徒は、熱心にメモを取るなど、興味をもって講義に聞き入っていました。



- ◇ 山崎断層について詳しく知ることができ、将来この地域で大きな地震が起こることを想定して備えなければいけないと思いました。
- ◇ 実際に山崎断層に触れ、大きな力が働いてズレることが実感できた。
- ◇ いつか来るであろう南海トラフ地震についても調べ、防災に役立てたいと思った。
- ◇ この実習に参加して、地震を含めた自然災害全般について関心が高まりました。

今後の予定

課題研究Ⅲ英語発表会 10月2日(金) 5,6限 体育館
 化学グランプリ 10月25日(日) 13:30~16:00 リモート
 課題研究Ⅱ中間発表会 10月27日(火) 6,7限 体育館
 数学・理科甲子園 11月21日(土) 甲南大学
 数学オリンピック 1月11日(月) 13:00~16:00 リモート

お知らせ

- ・播磨町にある(株)神戸工業試験場の見学を企画立案しています。この会社は本校卒業生で課題研究アドバイザーの福島整先生の勤務先です。詳細が決まり次第お知らせします。
- ・関西研修(京都大学)は実施を検討中です。